



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 すてきナイスグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8089 URL <https://www.suteki-nice.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉田 理之
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経営推進本部 (氏名) 森 隆士 (TEL) 045-521-6111
 副部長 兼 広報部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	117,577	10.4	△331	—	△508	—	△468	—
2019年3月期第2四半期	106,495	△6.6	△1,825	—	△2,112	—	△2,473	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △2,631百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △3,053百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△49.97	—
2019年3月期第2四半期	△263.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	174,539	40,882	21.5	3,994.59
2019年3月期	179,168	43,627	22.5	4,290.97

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 37,459百万円 2019年3月期 40,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の配当金額については未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

2020年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では当社として合理的な算定・予想を行うことができないため、記載は行っておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	9,656,119株	2019年3月期	9,656,119株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	278,592株	2019年3月期	278,382株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	9,377,598株	2019年3月期2Q	9,378,350株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(有価証券報告書の虚偽記載の嫌疑と対応について)

2019年5月16日、2015年3月期の不動産売買取引において架空売上計上の疑い(以下「本件嫌疑」といいます。)があるとして、証券取引等監視委員会による強制調査および横浜地方検察庁による強制捜査を受けました。これに対し、当社は本件嫌疑について、類似事象の有無も含めて、中立・公正で客観的な調査等を実施する必要があると判断し、2019年5月30日、当社と利害関係を有しない外部専門家で構成される第三者委員会を設置いたしました。そして、2019年7月24日付で調査報告書を受領し、調査結果を踏まえ、2015年3月期の不動産売買取引に係る売上高の一部の取消し等の訂正を行うとともに、連結の範囲に関する重要性の判断を見直すことにより、2014年3月期の第4四半期以降の決算を訂正し、2019年8月1日に第65期(2014年3月期)以降の訂正有価証券報告書および訂正四半期報告書と、第70期(2019年3月期)の有価証券報告書を関東財務局に提出いたしました。

2019年8月23日には、第三者委員会の調査報告書において指摘を受けた事項等を真摯に受け止め、再発防止策の骨子を策定いたしました。株式会社東京証券取引所から2019年9月20日付で特設注意市場銘柄に指定されるとともに、上場契約違約金として3,360万円の徴求を受けました。

当社といたしましてはこの事態を深く反省し、2019年8月1日付で過年度の訂正を行った理由等にとどまることなく、連結の範囲について、資本関係がない実質支配会社も含め、すべてを連結する方針としたうえ、第三者である外部の専門家とともにより幅広く再点検等を行った結果、改めて必要と認識した事項につきまして過年度の決算の訂正を行うこととし、2019年11月14日付で開示いたしました。

(第2四半期の経営成績)

当社グループの当第2四半期連結累計期間は、2019年10月からの消費増税を背景に、新設住宅着工戸数のうち、持家および分譲の一戸建住宅の着工が堅調に推移したことなどにより、売上高は1,175億77百万円(前年同期比10.4%増加)となり、営業損失は3億31百万円、経常損失は5億8百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億68百万円となりました。

セグメント別売上高の内訳

(単位：百万円)

セグメント	部門	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計年度
建築資材	建築資材	81,756	84,734	171,522
住宅	一戸建住宅	10,382	10,669	29,745
	マンション	2,836	3,097	9,246
	管理その他	7,592	14,969	24,740
	計	20,811	28,736	63,732
その他	その他	3,927	4,107	8,928
	合計	106,495	117,577	244,183

【建築資材事業】

建築資材事業は、木材市場に加盟する問屋の売上高の減少などにより木材の売上高は減少したものの、建材・住宅設備機器の売上高は増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は847億34百万円(前年同期比3.6%増加)となり、営業利益は10億62百万円(前年同期比18.9%増加)となりました。

商品別売上高

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計年度
木材	30,953	29,876	63,416
建材・住宅設備機器	50,802	54,857	108,105
合計	81,756	84,734	171,522

【住宅事業】

住宅事業は、主に管理その他の部門における不動産売買等による売上高が増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は287億36百万円(前年同期比38.1%増加)となり、営業損失は7億12百万円(前年同期は営業損失16億73百万円)となりました。

I 一戸建住宅・マンションの売上計上・契約戸数実績
(売上計上戸数実績)

(単位：戸)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計年度
一戸建住宅	243	272	743
マンション	63	46	187
(首都圏)	(24)	(46)	(147)
(その他)	(39)	(0)	(40)
合計	306	318	930

(契約戸数実績)

(単位：戸)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計年度
一戸建住宅	367	342	746
マンション	79	63	240
(首都圏)	(49)	(47)	(138)
(その他)	(30)	(16)	(102)
合計	446	405	986

II 販売用不動産の内訳

契約済を含む「完成販売用不動産」は、前連結会計年度末に比べ20億89百万円減少しました。建築中の「仕掛販売用不動産」は、前連結会計年度末に比べ2億89百万円増加しました。また、建築着工前の「開発用不動産」は、前連結会計年度末に比べ49億31百万円減少しました。

「販売用不動産」合計では前連結会計年度末に比べ67億31百万円減少しております。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減
完成販売用不動産	13,305	11,215	△2,089
仕掛販売用不動産	10,661	10,951	289
開発用不動産	23,226	18,295	△4,931
合計	47,193	40,462	△6,731

【その他の事業】

その他の事業の売上高は41億7百万円(前年同期比4.6%増加)となり、営業利益は1億45百万円(前年同期は営業損失34百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ46億29百万円減少し、1,745億39百万円となりました。現金及び預金、受取手形及び売掛金は増加しましたが、販売用不動産、投資有価証券が減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ18億84百万円減少し、1,336億56百万円となりました。借入金は増加しましたが、支払手形及び買掛金が減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ27億45百万円減少し、408億82百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、土地再評価差額金からの振替による利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金及び土地再評価差額金が減少したことなどによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ50億70百万円増加し、213億28百万円となりました。

営業活動による資金の減少は、68億30百万円(前年同期比95億64百万円の収入増加)となりました。主な内訳は、売上債権の増加39億円、仕入債務の減少63億14百万円、たな卸資産の減少67億57百万円、税金等調整前四半期純利益の計上6億97百万円です。

投資活動による資金の増加は、56億67百万円(前年同期比81億1百万円の収入増加)となりました。主な内訳は、投資有価証券の売却による収入67億19百万円です。

財務活動による資金の増加は、61億54百万円(前年同期比101億1百万円の収入減少)となりました。主な内訳は、短期借入金の増加114億73百万円、長期借入金の返済による支出56億36百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、2019年8月9日公表のとおり、不適切会計処理問題による影響額を精査したうえで改めて開示させていただく予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,439	21,495
受取手形及び売掛金	31,205	35,097
商品	9,070	8,747
販売用不動産	47,193	40,462
未成工事支出金	837	1,238
その他	3,540	5,118
貸倒引当金	△57	△140
流動資産合計	108,229	112,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,881	13,389
土地	30,402	30,269
その他（純額）	4,259	3,910
有形固定資産合計	48,543	47,569
無形固定資産	1,347	1,265
投資その他の資産		
投資有価証券	12,860	5,801
その他	8,398	8,091
貸倒引当金	△209	△208
投資その他の資産合計	21,049	13,684
固定資産合計	70,939	62,520
資産合計	179,168	174,539
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,682	30,360
短期借入金	39,825	50,315
1年内償還予定の社債	40	40
未払法人税等	939	1,537
引当金	1,305	1,143
その他	9,550	9,244
流動負債合計	88,343	92,641
固定負債		
社債	160	140
長期借入金	33,890	29,644
退職給付に係る負債	1,264	1,335
資産除去債務	41	42
その他	11,840	9,853
固定負債合計	47,197	41,014
負債合計	135,541	133,656

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,069	22,069
資本剰余金	15,701	15,701
利益剰余金	1,020	1,589
自己株式	△678	△678
株主資本合計	38,112	38,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,330	156
繰延ヘッジ損益	△27	△25
土地再評価差額金	68	△969
為替換算調整勘定	△720	△811
退職給付に係る調整累計額	476	427
その他の包括利益累計額合計	2,127	△1,222
新株予約権	1	—
非支配株主持分	3,387	3,422
純資産合計	43,627	40,882
負債純資産合計	179,168	174,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	106,495	117,577
売上原価	92,583	102,358
売上総利益	13,912	15,219
販売費及び一般管理費	15,737	15,550
営業損失(△)	△1,825	△331
営業外収益		
受取利息	18	18
受取配当金	164	203
その他	149	176
営業外収益合計	332	399
営業外費用		
支払利息	551	501
その他	67	74
営業外費用合計	619	576
経常損失(△)	△2,112	△508
特別利益		
固定資産売却益	6	4
投資有価証券売却益	—	2,452
特別利益合計	6	2,456
特別損失		
固定資産除却損	8	55
投資有価証券売却損	—	621
事業構造改善費用	—	550
その他	—	22
特別損失合計	8	1,250
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,114	697
法人税、住民税及び事業税	350	1,427
法人税等調整額	△53	△412
法人税等合計	296	1,014
四半期純損失(△)	△2,411	△316
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	151
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,473	△468

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,411	△316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△509	△2,176
繰延ヘッジ損益	61	2
為替換算調整勘定	△81	△91
退職給付に係る調整額	△113	△49
その他の包括利益合計	△641	△2,314
四半期包括利益	△3,053	△2,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,115	△2,780
非支配株主に係る四半期包括利益	62	148

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,114	697
減価償却費	985	997
のれん償却額	67	84
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	82
賞与引当金の増減額(△は減少)	△96	△162
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△31	87
受取利息及び受取配当金	△183	△222
支払利息	551	501
持分法による投資損益(△は益)	△13	△11
売上債権の増減額(△は増加)	△313	△3,900
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,717	6,757
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,737	△6,314
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,830
有形固定資産除売却損益(△は益)	2	51
事業構造改善費用	—	550
その他	804	△3,259
小計	△15,805	△5,890
利息及び配当金の受取額	191	231
利息の支払額	△495	△431
法人税等の支払額	△478	△740
保険金の受取額	190	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,395	△6,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,481	△667
有形固定資産の売却による収入	75	8
投資有価証券の売却による収入	—	6,719
無形固定資産の取得による支出	△150	—
投資有価証券の取得による支出	△647	△357
貸付けによる支出	△121	△73
貸付金の回収による収入	57	68
その他	△166	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,433	5,667

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	12,650	528
長期借入金の返済による支出	△7,790	△5,636
社債の償還による支出	△2,420	△20
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△281	—
短期借入金の純増減額 (△は減少)	14,328	11,473
非支配株主への配当金の支払額	△163	△104
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△10	△8
その他	△55	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,256	6,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	78
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,539	5,070
現金及び現金同等物の期首残高	16,591	16,258
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,052	21,328

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建築資材	住宅	計		
売上高					
外部顧客への売上高	81,756	20,811	102,568	3,927	106,495
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,819	86	1,906	2,132	4,038
計	83,576	20,898	104,474	6,059	110,534
セグメント利益又は損失(△)	893	△1,673	△779	△34	△814

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事業、ソフトウェア開発・販売事業及び一般放送事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△779
「その他」の区分の損失(△)	△34
セグメント間取引消去	△2
全社費用(注)	△1,009
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,825

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建築資材	住宅	計		
売上高					
外部顧客への売上高	84,734	28,736	113,470	4,107	117,577
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,283	172	1,455	2,334	3,790
計	86,018	28,908	114,926	6,441	121,368
セグメント利益又は損失(△)	1,062	△712	350	145	495

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事事業、ソフトウェア開発・販売事業及び一般放送事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	350
「その他」の区分の利益	145
セグメント間取引消去	13
全社費用(注)	△840
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△331

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。